

水稻の技術対策臨時情報 高温対策の実践を！



令和7年は6月中旬から異常な猛暑となり、近畿地方の梅雨明けは平年より22日早い6月27日となりました。気象庁の長期予報では今年の夏も猛暑となることが予報されていますので、以下の対策を実践しましょう！

「後期栄養の維持確保」+「適正な水管理」

後期栄養の維持確保

☀ 地力が低いほ場や籾数過多のほ場では登熟期間の葉色が低下しやすく、登熟不良となり白未熟粒や屑米の増加が懸念されます。

☀ 以下の①②の場合、**全量基肥（一発肥料）栽培**であっても、**出穂11日前（幼穂形成期の14日後）から出穂4日前（早い穂が出始める頃）までに1～2 kg N/10aを追加施用**することで登熟の改善が図れます。

① 葉色が薄い場合。

出穂11日前（幼穂形成期の14日後）までの葉色が、葉色板で4.0（SPAD値36）以下

② 生育が旺盛で籾数過多が予想されるほ場において、**葉もちが発生していない場合。**

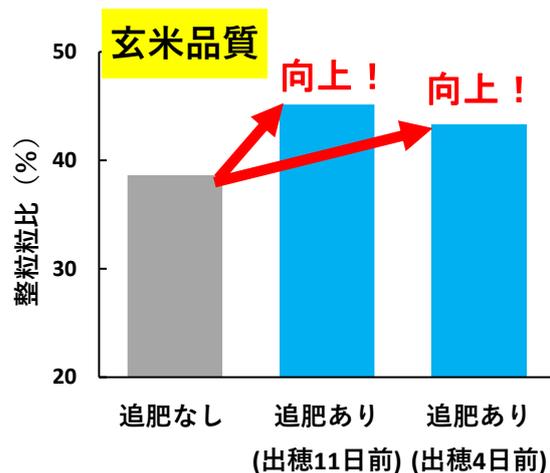
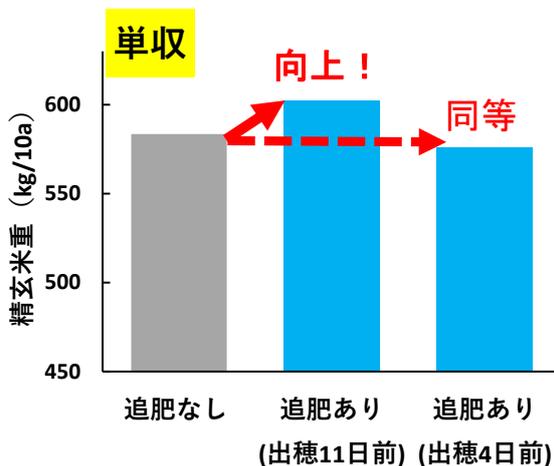
コシヒカリの目安（60株/坪：莖数25本/株以上）
（50株/坪：莖数30本/株以上）



田んぼを確認して考えてみよう！

※追肥を行う前には必ず自身が栽培している水稻を観察して、倒伏リスクも考慮して追肥を施用するか判断し、食味に影響しないよう施肥の遅れや過剰な施肥に注意してください。環境こだわり栽培の場合は、有機質肥料を使用する等の施肥基準を順守してください。

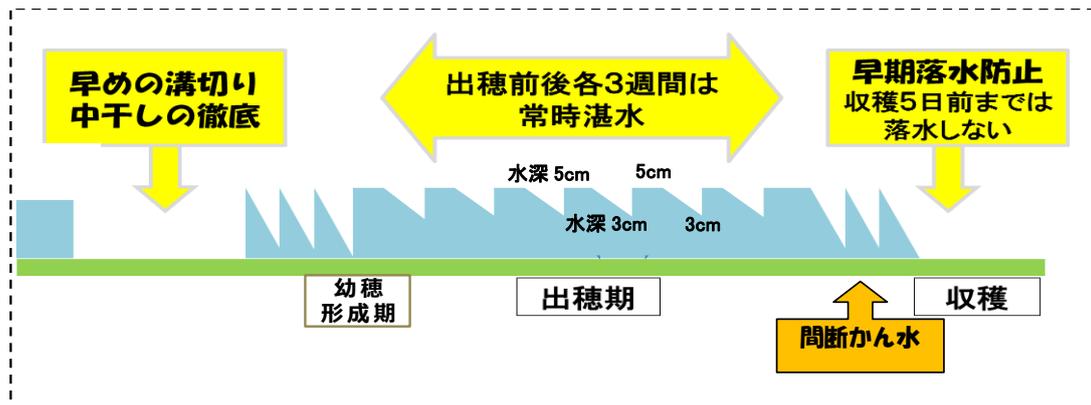
【参考】全量基肥栽培「コシヒカリ」に対する追肥効果（滋賀農技セ 2022～2023年）



適正な水管理

☀ 出穂期前後に水が不足すると十分に光合成できず、白未熟粒の発生や籾の充実不足が助長されるため、**出穂前後各3週間は常時湛水管理**（水深3cm～5cm）を行います。

☀ **落水時期**の目安は収穫の5日前ですが、**収穫作業に支障がない限り出来るだけ遅らせ**、根や葉の活力を収穫直前まで維持させます。



【参考】水管理が玄米品質に及ぼす影響

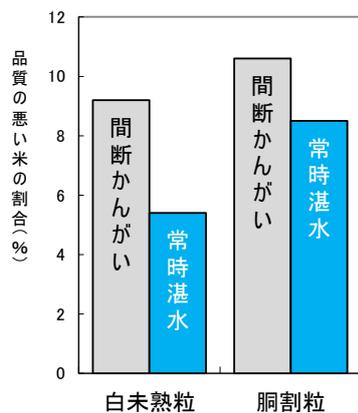


図 出穂後の水管理と白未熟粒、胴割粒との関係
(滋賀農技セ 2006年「コシカリ」)

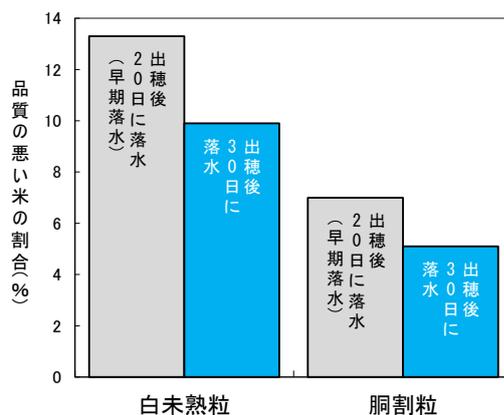
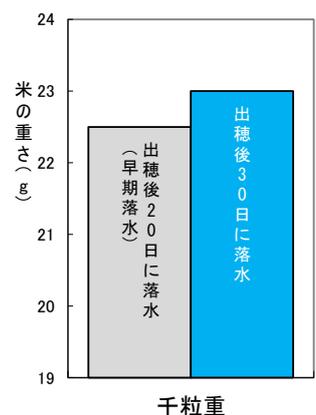


図 落水時期と白未熟粒、胴割粒、千粒重(米の重さ)の関係
(滋賀農試湖北分場2004年「コシカリ」)



お問い合わせ先

- 大津・南部農業普及指導センター TEL:077-567-5421
- 甲賀農業普及指導センター TEL:0748-63-6127
- 東近江農業普及指導センター (東部普及指導係) TEL:0748-22-7727 (西部普及指導係) TEL:0748-46-6504
- 湖東農業普及指導センター TEL:0749-27-2228
- 湖北農業普及指導センター TEL:0749-65-6630
- 高島農業普及指導センター TEL:0740-22-6027
- 滋賀県農業技術振興センター農業革新支援部 TEL:0748-46-4392